

# 田原凧だより

第74号

2005.1.1

謹  
賀  
新  
年



## 会長あいさつ

輝かしい新年を迎え益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

本年の田原凧まつりは、「たはら環境未来博・第12回全国風サミット」と並行して4日間開催しますので、例年の凧まつりより一層盛り上がった祭りとなることと思います。

また、愛知万博におきましては、6月6日田原デー並びに6月11日愛知凧連合として田原凧も参加いたしますので、併せて会員を始め各関係者のご協力をお願いします。

田原凧保存会長 松井克雄

5月19日～5月22日

たはら環境未来博

第12回全国風サミット

第45回田原凧まつり

【事務局】田原まつり会館・熊金の館

田原市田原町稗田17

tel・fax 0531-23-0550

e-mail taharatako@aw.wakwak.com

発行責任者 太田 健

# 新年のごあいさつ

田原市長 白井 孝 市



あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、平成17年の輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

凧と言えば古くから正月の遊びとしての印象があります。田原市の凧は子どもの誕生を祝う「初凧」、そして全国的に有名な「けんか凧」とあり、ともに市無形民俗文化財に指定されています。私も去年の「プレ愛知万博全

国凧揚げ大会 in 豊橋」の開会行事や「凧まつり」の前夜祭に参加しましたが、全国凧友のネットワークとパワーには毎回感心させられています。

本年2005年は、愛知万博の年そして田原市では5月19日から5月22日の4日間にわたり「たはら環境未来博・第12回全国風サミット」を開催いたします。風力発電等エコエネルギーとしての「風」ばかりではなく、日本の凧の会の茂出木会長を基調講演講師としてお招きして、生活文化として凧などの「風」も取り上げます。

この行事は、例年の「第45回田原凧まつり」の行事と併せて進めますので、田原凧保存会の皆様にはご協力をお願いします。また、この機会に全国の凧友などがいつにも増して多く田原市に訪れ、本市の伝統文化に触れて頂きたいと願っています。

今年も田原凧保存会がますますご活躍されることを祈念し、新年のごあいさつといたします。



田原臨海部に建設が進む直径80mの風力発電施設（総数は12基に）

## 凧行事&各地の凧揚げ大会&凧づくり教室のご案内

お屠蘇をいただき凧揚げで、  
凧をつまみに  
正月からおおいに凧凧と  
語ろうよ。

### (1) 新春凧揚げ&餅つき大会について

日時 平成17年1月2日(日) 集合=9時 開始=10時~  
場所 めっくんはうす  
内容 干支凧配布 100枚(午前・午後)  
幹事 藤城三・萩原武・原田・河合博・鈴木裕

### (2) 新春豊橋凧揚げ大会

日時 平成17年1月3日(月) 9時~15時  
場所 豊橋市総合スポーツ公園

### (3) 日本財団主催・碧南親子凧づくり凧あげ教室

日時 平成17年1月8日(土) 10時~  
場所 碧南市  
参加者 竹内裕美吉良支部長・鈴木裕

### (4) 新春こうた凧揚げまつり

日時 平成17年1月8(土)・9日(日) 10時~14時  
場所 前夜祭=三河ハイツ 天の丸 凧揚げ=幸田町菱池地内  
参加者 前日組=佐々木・武三・河合博・山村・杉田昌・鈴木裕  
当日組=杉本・萩原昭・鈴木健・今川・岡田伍・岡田律・藤城末  
藤城道・岡本・加藤要・赤6×4・原田・福井春・豊田諭

### (5) 矢作川全国凧揚げ名人豊田大会

日時 平成17年1月9日(日)・10日(月) 10時~  
場所 豊田市・豊田スタジアム公園  
参加者 鈴木裕・竹内裕

### (6) NPO(特定非営利活動法人)活動支援講座のご案内(勉強会)

日時 1/22(土)・2/5(土)・2/12(土)・2/19(土)  
場所 田原文化会館 会議室  
申込先 田原市役所 総務課 締切り=1/14 参加費=無料

### (7) 阿久比植大凧揚げ大会

日時 平成17年1月23日(日) 10時~  
場所 知多郡阿久比町・植大地区  
幹事 鈴木裕

### (8) 第2回安城市桜井凧揚げ大会

日時 平成17年1月23日(日)  
場所 安城市

### (9) 中部小学校4・5年生凧づくり教室

日時 平成17年2月4日(金) 13時50分~15時35分  
場所 中部小学校体育館・運動場  
参加者 鈴木裕

### (10) 東三河ボランティア集会&凧の話

日時 平成17年2月6日(日)  
場所 蒲郡市民館  
講師 鈴木裕 演題「三河地方の凧文化について」  
幹事 松井克雄会長

### (11) 豊田市前林地区凧揚げ大会

日時 平成17年2月6日(日)  
場所 豊田市高丘地区  
幹事 佐々木・木下

今年は5年生に4年生も加わり総勢100名となります。

凧絵のテーマは「環境とエコ」2005年の風サミットには、この凧をアーチカイトにし全国の皆さんにPRいたします。

「凧づくり出来ますか？」と熊金の館に親子3人がやってきました。「もちろんいいですよ。どれがいいかな？」と、色とりどりの凧絵を見せると、妹は「日の出鶴」を選びました。お兄ちゃんは首を振りながらなかなか決まりません。するとテレビの前に飛んでいき、けんか凧参加チームの小凧を見てきて「青の55番がいい！」と・・・。

驚きました。数字の凧を作りたいと言ったのは初めてです。お母さんに訳を聞き納得しました。こちら嬉しくなり凧好きの「瀬川耕平君」のことをお母さんに書いてもらいました。

## 凧 大 好 き !!

豊橋市 瀬川 耕平

僕は、愛知県豊橋市に住んでいる瀬川耕平(せがわこうへい)といます。今、幼稚園年長の6歳です。僕は去年の秋頃から、凧が好きになり、今では凧を作ることも揚げることも大好きになりました。

どうして僕が凧好きになったかという、まずはお母さんの実家で凧を見ることがあったからだと思います。静岡県の周智郡森町という所ですが、5月5日の子供の日には、男の子が生まれると、初節句のお祝いで町内ごとに凧を揚げお祝いします。僕の時も揚げてもらう予定でしたが、雨が降ってしまい揚げられませんでした。

あとはそれに加え、おじいちゃんが趣味ですが凧を作るので、お母さんの実家では見るのがあったからだと思います。僕の初節句の飾り凧もおじいちゃんが作り、家に前から飾ってあります。

初節句のあとすぐ「凧、凧」ではなく、何年か前に浜松祭りの凧揚げを見に行き、凧の数と凧合戦に圧倒されたのか、浜松の凧まつりはあつという間に好きになりました。そんなふうで、浜松の凧の祭り会館も好きになり、中の凧を見たり、外で凧を揚げられるようになっているので、家から持って行き、揚げたりしていました。

去年(H15年)の秋より急に「凧、凧」言うようになり、豊橋の広報を見て、全国の凧揚げ大会が豊橋で開かれているのを知り、初めて見に行きました。モリゾー・キッコロの凧を作って揚げて来ました。夢中になって揚げたり、いろんな凧を見たりしていました。

そして今年(H16年)は、新聞に載っているのを見て、田原の凧祭りのことを知り、行ってみようと思い、親戚の人(僕のおばさん家族)と家族4人とで出かけました。でも、いざ着いてみたものの、その日は天気あまり良なくて、やるのか分からず、結局その日は中止で来週になったとのことでした。がっかりしていたところへ、はっぴ姿の林さん(青55)が僕たちに近づき、声をかけてきてくれました。

「あれ、凧祭りに来たの？」

こんな感じだったと思います。何でも僕といとこが祭りのはっぴを着ていたの、目にとまったらいいのです。そして、

「どこから来たの？」

と聞いて、かわいそうに思ったのか僕と妹といとこに凧を見せてくれて、1枚ずつくれました。僕たちは凧揚げが見れなかったけれど、凧のプレゼントに喜びました。

そして次の週はとてもいい天気、お母さんと妹ともう一度、見に行ってきました。そしたら、林さんをすぐに見つけ、そこで一緒に凧祭りを見せてもらいました。田んぼでは、次々と凧合戦が始まり、面白かったです。

そしてその時、今度は9月に豊橋で全国の凧揚げ大会があると聞いて、今年も行きました。今年林さんがいたので、凧を揚げるのを手伝ってくれたり、コンテストでは、審査員の前へ行きアピールしてくれたので、僕は賞品をもらうことができました。凧もすごく揚がったし、うれしかったです。

話は変わって、全国凧揚げ大会の前日に、家の近くの田んぼまでお母さんと散歩に行ったら、知らないおじさんが凧を揚げていのに気付きました。近づいて見ていると、田原の凧だと分かりました。そのおじさんは自動車に来ていて、僕が持っていないような大きな、そしてきれいな色の凧を4~5枚持っていました。そして、僕が凧が好きだということが分ると、おじさんが1枚僕

にくれました。このおじさんは、うちの近くの人らしいんですが、元々は田原にいたそうです。この凧は僕の宝物で、やっぱり家に飾ってあります。とてもうれしかったです。

田原凧祭りで延期になったとき、まつり会館へ初めて行きました。浜松の時と同じく、今では行きたくなるとたまにですがまつり会館へ行っています。そんな時、10月終わりに鈴木さんに会い、田原の小凧の作り方を教えてもらいながら、僕と妹の凧を作りました。そして、この作文を書くことになりました。大体こんな感じで僕は凧を好きになっていきました。家でもたまに揚げられるときは揚げています。以上です。

瀬川耕平君、おかあさん お手紙ありがとうございました。  
また、田原まつり会館の熊金の館に遊びに来てください。

今年は南京系にラミー系が増える！？

強度は同じ 戦いは「腕」次第



保存会の会員らは、生前的の岡田さんから系作りを習おうとしたが「たこ系作りは、仕事の片手間に一朝一夕で簡単に習得できるような技術ではない（保存会の鈴木裕嗣会長）。当面は使い古しの糸でしのぎながら、数年がかりで他県の系作り名人に教えをうとう。

中日新聞 (第3種郵便物認可) 16.11.23

# 「田原たこ」 存続ピンチ

## 職人死去で糸不足

愛知県田原市で、江戸時代から続く伝統のたこ化財で知られる。田原凧（たこ）保存会によるの危機に陥っている。伸縮の少ない特別なたこ糸が必要だが、糸づくり名人が二年前に死去。後継者がいないうえ、たこ糸のストックも乏しくなっているからだ。

田原たこは、二つのたこを空中で絡ませ、互いの糸を切り合う「けんかけ」。岡田さんが生前、作

「風合戦」（市無形民俗文財）で知られる。田原凧（たこ）保存会によると、栃木産の麻を使った軽くて切れにくい天然の麻ひもをたこ糸として使っている。

しかし、この糸を紡げるのは全国で数人で、愛知県内では二年前に七十歳で亡くなった岡田敏夫さんだ

ただいま

麻糸制作者募集中！！